

佐倉市議会だより



2013年11月1日
（平成25年）

発行 佐倉市議会 編集 広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6279 FAX486-2508
佐倉市ホームページ http://www.city.sakura.lg.jp メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



▲平成26年4月から指定管理者による管理となる児童センターや学童保育所

佐倉市議会は、9月2日から10月1日までの30日間にわたり、平成25年9月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から「平成24年度佐倉市一般会計歳入歳出決算認定について」や「平成25年度佐倉市一般会計補正予算」など議案31件と諮問1件が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決、認定または同意しました。

陳情については、「生活保護法を『改悪』しないよう意見書の提出を求める陳情書」など2件、議員提出議案については、「佐倉市議会会議規則の左横書き化等に関する規則制定について」など9件が提出され、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に4人、個人質問に12人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

9月定例会

平成24年度各会計 歳入歳出決算を認定

平成25年度一般会計等補正予算、
西志津小学校体育館の
改築建築工事請負契約、
児童センターと学童保育所の
指定管理者の指定について可決

決算審査特別委員会を設置

平成24年度の一般会計、各特別会計、水道事業会計の決算審査を行うため、決算審査特別委員会を設置しました。

選出した委員は次のとおりです。

- ◎山口文明 五十嵐智美 中村孝治
 - 石渡康郎 村田穰史 望月清義
 - 爲田 浩 柏木恵子
 - 久野妙子 櫻井道明
- (◎…委員長、○…副委員長)

平成24年度会計別決算の状況

会計名	歳入決算額(円)	歳出決算額(円)	差引残額(円)	
① 一般会計	43,687,716,158	41,264,151,741	2,423,564,417	
特別会計	② 国民健康保険	18,278,053,668	18,053,200,758	224,852,910
	③ 公共用地取得事業	3,170,021	3,170,021	0
	④ 下水道事業	2,556,569,173	2,395,874,964	160,694,209
	⑤ 農業集落排水事業	21,577,542	21,571,222	6,320
	⑥ 介護保険	9,577,703,586	9,206,629,568	371,074,018
	⑦ 災害共済事業	5,515,465	1,543,156	3,972,309
	⑧ 後期高齢者医療	1,426,536,190	1,421,910,418	4,625,772
	会計名	事業収益(円)	事業費用(円)	純利益(円)
⑨ 水道事業	3,533,703,119	3,289,983,691	243,719,428	

※丸数字は議案番号

平成24年度決算を審査

決算審査特別委員会は、4日間にわたり担当部課長からの説明を受け、慎重に審査を行いました。

定例会最終日の本会議場において、山口文明委員長から審査結果報告があり、次の4点について要望しました。

- 生活保護受給者が早期に自立できるよう就労支援など自立支援体制の充実に努めるとともに、自立し、生活保護が停止又は廃止となった場合でも、フォローアップ体制の充実に努めていただきたい。
- 婚活支援事業の実施にあたっては、成婚を目的とするのみでなく、市内に定住を続けられるよう配慮し、定住人口の維持、増大につなげていただきたい。
- 街灯のLED化は、ランニングコスト削減の面から有効であり促進を図る必要がある。市が管理している街灯のLED化の促進や、自治会で管理している街灯をLEDに交換する際の補助制度を図るなど、一層の推進に努めていただきたい。
- 児童、生徒の心のケアの充実に努めるため、心の教育相談員の増員及び第三者による相談体制の充実に努めていただきたい。

決算審査特別委員会の審査模様



志津霊園代替地の現地視察

全員協議会室での審査

市政に関する

一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたり質問を行うことをいいます。

9月定例会では、9月9日から9月12日までの4日間にわたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録（11月下旬発行予定）の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム（11月下旬配信予定）でご覧ください。

一般質問通告要旨

代表質問

※は持ち時間1時間、それ以外は30分、()内は会派名。

望月清義（さくら会）※

- 1 市長の政治姿勢について 2 スポーツの振興について
3 学校教育について 4 福祉の充実について
5 子育て支援について 6 産業振興について
7 環境問題について 8 都市問題、インフラ問題について

柏木恵子（公明党）

- 1 第5次佐倉市行政改革大綱について
2 「災害対策基本法改正案」成立を受けて

五十嵐智美（市民ネットワーク）

- 1 市長の政治姿勢について
2 ごみ減量を推進する取り組みについて

岩井功（みんなの党）

- 1 農業政策について 2 企業誘致について
3 教育と地域について 4 集中豪雨対策について

個人質問

井原慶一（さくら会）

- 1 教育について
2 市政一般について

高木大輔

- 1 学校トイレについて 2 寄付機能付き自動販売機について
3 介護ボランティア制度について
4 情報通信技術（ICT）の活用について

山口文明（さくら会）

- 1 駅周辺の活性化について 2 高齢者の見守りにについて
3 健康管理、健康増進について 4 教育について

小須田稔（公明党）

- 1 健康・福祉について

萩原陽子

- 1 保育の質をどう保証するか
2 環境行政の推進について

橋岡協美（さくら会）

- 1 健康、医療、国保について 2 入札制度について
3 教育について

石渡康郎（さくら会）

- 1 観光振興について

大野博美（市民ネットワーク）

- 1 市長の政治姿勢について 2 生活保護について
3 市職員に対する「働きかけ」の報告について
4 入札制度について

富塚忠雄

- 1 市長の政治姿勢について
2 今までの質問に対する検討結果について

久野妙子（公明党）

- 1 安心・安全なまちづくりについて 2 青少年サポートについて
3 収容動物の殺処分ゼロについて

上ノ山博夫

- 1 市長の政治姿勢について
2 教育問題について

伊藤壽子（市民ネットワーク）

- 1 子宮頸がんワクチン接種被害について
2 個人情報管理問題と共通番号制の問題点について
3 (仮)佐倉西部自然公園について

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問

財政問題について

望月清義 財政問題について 地方税等自主財源の減少や社会保障関連経費の増加、地方交付税制度の見直しなど地方財政を取り巻く環境が厳しい状況下でも、24年度決算は健全な財政運営がなされたものと評価する。決算を分析し、次年度以降の予算編成や運営に生かすべきと考えるが、今後の見解を伺う。

大学との連携について

答 大学は地域の活性化を促す重要な資源の一つで、大学との連携事業により、子育て支援や健康づくり、教育等の分野でより活気あるまちづくりを進めたい。また、順天堂大学とは積極的に意見交換しており、拡充や新設等の計画の際には候補地としていただくよう要請している。

体育と運動部活動充実について

答 学校における体育や運動部活動の充実、スポーツの楽しさを味わい、体力向上や健康増進を図るだけでなく、規範意識を高め、社会性や自主性を養うなど重要な役割を担っているが、部活動数減少や指導する教職員不足が大きな課題とすることで、現状と今後の方針について伺う。

文科省調査で一時低下傾向にあった体力や運動能力も現在は歯止めがかかっている。部活動数も5年前と大きく変化していない。今後も教科体育と運動部活動の充実により、健やかな体を育み、心身ともに調和のとれた子どもたちの育成に努める。

中学校の先生方にとって、放課後の部活動指導が大きな負担となっていることから、地域の人材も含めた外部の専門家を

招聘することについてはどうか。

答 現在も9校で18人の外部指導者にご協力いただいております。部活動の活性化に有効であると考え、引き続き学校の実情に合わせて積極的に取り組みたいです。

公明党

柏木恵子

交流人口・定住人口増への工夫について 人口7千9百人、北海道東川町の交流人口・定住人口増の取り組みは、「写真の町」宣言をし、どこを撮られても良いように、町も建物も農作業中もきれいに！と、写真を活用した事業（写真甲子園など）を展開し、この28年間行政・町民全体で美しい町を作り上げながら、訪れた人を大切にしたいこと、さらに、新・婚姻届事業（昨年度は98組の届出中、町外が67組）などの工夫により10年で400人超の定住増となった。このような取り組み導入はいかがか伺う。

HPなど情報発信について

答 行ったくなるような独自性あるHPへ刷新を望むが如何か。

契約期間中大幅な変更は無理だが、可能な限り見直し、平成29年度以降には、より魅力的なHPとなるよう検討する。

納税株主制度について

東川町の株主制度は、1株千円から市外株主は、特別町民に認定。1万円以上の株主には、5千円相当の東川町土産もあり、さらに、その日から1年間は宿泊施設に無料で宿泊等の取り組みで平成25年8月末の投資額は約7千万円となった。佐倉市のふるさと寄附金事業をこのような株主制度として実施すべきと考えるかがか伺う。

さまざま参考研究している。また、佐倉市を応援したいという方々を増やせるよう佐倉の魅力発信していきたい。

市民ネットワーク

五十嵐智美

放射能対策の拡充

国は子ども・被災者支援法の基本方針を8月に突然公表。県内9市

重点地区は支援対象地域の指定、健康管理対策等を要望したが、反映されなかった。国に対しパブリックコメント提出等の要請行動を起こすべき。

9市の状況を確認し、どうするか今検討しているところ。

放射能は雨風や地形条件で集まる場所が変化し、側溝等で線量が高い状況にある。測定の場合や方法の変更が必要。一例として効率的で広範囲の測定が可能な機器ホットスポットファインダーの導入を提案する。

国の方針により測定していきたい。機器は考えていない。

保育園父母の会から佐倉東保育園の民営化で保育の質が保てるかなど戸惑いや反対の声がある。保護者に丁寧な対応を。

保護者の意見は重要と認識している。可能な限り対応する。

児童保育所の指定管理者導入は子どもの福祉として初めて。審査委員会は時間的な余裕がなく、専門家のオブザーバー参加やプレレンもせず個別ヒアリングのみ。十分な審査といえるか。

慎重な審議のうえ、総合的に判断した中で、選定した。

使用済み小型家電に含まれるレアメタルなどのリサイクルを行う工程に、製品の分解や売却を行う仕事がある。伊勢原市ではその作業を就労支援B型事業所の福祉作業所に委託している。佐倉市も同様の取り組みを。

今後小型家電の処理全体の中で関係機関と協議していく。

ある等立地の余地を残している。より積極的なセールの必要と思われるがいかにか考えるか。

所有者である三菱地所の意向を十分に踏まえ企業誘致の推進を図っていききたい。

佐倉市での地域と連携した学校づくりの取り組みについて。

市内7校で学校運営委員会を設け登下校の安全、学習支援、環境整備等の連携をしている。

通学路の安全を見守るボランティア（スクールガード）の確保に苦勞している学校もあるがどのように考えるか。

教育フォーラムや、広報、HP等で参加を呼びかけている。

集中豪雨が頻発する中で市内でも土砂災害の危険性がある。人命優先の見地から迅速かつ的確に災害情報の伝達、そして避難できる体制がとられているか。

警戒指定区域では、地元との協議で避難体制整備を進めている。また防災無線やメール等の情報伝達体制を整備している。

個人質問

さくら会 井原慶一

通知書の誤記載について

通知書の誤記載が問題になっている。佐倉市においてどうか。

出席日数、係活動、表彰の記載については11件の誤記載があったが、評定についての誤りはなかった。

情報管理システム

インターネットや電子化によって、情報の流出が問題となっている。ISMS(情報セキュリティ)・マネジメント・システム) 認証制度を導入する考えはないか。

市民窓口について

現時点での導入予定はないが、制度を参考に引き続きセキュリティ対策を強化したい。

学校トイレについて

高木大輔

災害時、避難所となる学校施設。トイレの洋式化の推進、多目的トイレのオストメイト対応やシャワーの設置が推奨されているが取り組みについて問う。

学校施設の耐震化の際、和式から洋式に変更している。オストメイト対応は3校に設置し、今後も設置要望に対応していく。

現在の入札仕様は？

節水型の導入を進めている。ランニングコストの観点から節水タイプでは20年後、コストに約37万円の差が出るとの調査結果がある。蛇口も自動にする事で衛生的にも節水にもなるので、今後の設置を要望する。

介護ボランティア制度について

元気な高齢者の活躍の場として介護ボランティア制度は有効だと思いが、課題はあるか。

対象範囲、調整、基準、維持管理方法等多くの課題がある。介護現場でのボランティアのニーズとウォンツがマッチングできていない現状がある。現場の実態、市場性を調査すべき。

京成佐倉駅周辺の活性化を

山口文明

旧城下町地区には旧堀田邸順天堂記念館、武家屋敷等が点在し、観光佐倉の表玄関として駅周辺はもっと活力ある賑わいを創出しなければいけない。駅から市美術館に通じる重要な道路を、一方通行から対面通行に移行し通常の交通体系に戻すことが必要だ。併せて、駅周辺とこの道路の電線地中化、無電柱化計画等についても問う。

当該道路の整備で一層の集客が見込まれるが、まずは整備中の他の都市計画道路を完成させる必要があるため、電線地中化も併せて今後、中・長期的展望に立って検討していく。

佐倉を訪れる外国人観光客が増えている。市内の案内板、看板を4〜5カ国語の多言語・複数言語併記で表示して外国人を迎えたい。市はどう考えるか。

市の設置した地図表示看板は原則英語併記。京成佐倉駅前等一部のバス停には4カ国語表記案内看板を設置。今後とも案内看板等の設置を検討していく。

健康格差について

公明党 小須田稔

健康さくら21(2次)に新たに盛り込まれた健康格差について問う。

健康格差とは地域や社会経済状況の違いによる健康状態の差のこと。格差を示す指標は健康寿命で示される。健康寿命が高い他市を目標に市として健康寿命の延伸を目指していく。具体的には生活習慣病の早期発見と予防の取り組みとなる。

二次予防事業対象者について

この事業は要支援・要介護の認定を受けてない方で生活機能の低下から要介護になるおそれのある高齢者の把握や予防等をする事業であるが市の現状は。アンケート結果から把握された佐倉市の二次予防事業対象者は5730人。有効回答者の24%にあたる。

骨粗しょう症対策について

萩原陽子

要支援は骨粗しょう症も含めた関節疾患から移行する割合が非常に高い。市の取り組みは。超音波骨密度計を必要に応じて予算要求したい。

佐倉東保育園の民営化について

萩原陽子

保育園を建てる予定を変更し、保育しながら園庭に新園舎を建設する方法で、子ども達の安全は保証できるのか。

仮園の設置、送迎時間帯の工事車両制限など万全を期す。

工事現場で保育することは乳幼児にとって過酷な環境であり、園庭で遊べない状況をどう考えるのか。

千成4号公園を使用する。

学童保育の指定管理者選定

萩原陽子

利用料金の負担が増えたが、利用状況の変化はあるか。昨年比で公立は46名減、私立は37名増、全体で9名の減少。

料金が払えず利用をやめた子がいると聞いている。実態を調査すべきではないか。

適宜報告や実態把握に努めており調査は必要ないと考える。

環境行政の推進について

橋岡協美

放射能対策に要した費用は。1億2575万円で、うち市の負担は886万円となる。今後のエネルギー転換は。可能な限り進めたい。

健康、医療、国保について

橋岡協美

佐倉市の健康まちづくりについて市長の見解を問う。先駆的な健康づくりの取り組みを進め、佐倉を「健康のまち」としたい。

市民ネットワーク 大野博美

生活保護について

生活保護制度に対する市長の認識を問う。

生活に困窮する全ての国民に対し、健康で文化的な最低限度の生活を保障する憲法25条の理念を具体化する重要な制度だ。受給者の88%が高齢者や傷病者や母子家庭等働きたくとも働けない世帯。不正受給とはどのようなケースを言うのか。

入札制度について

萩原陽子

入札制度改革の検討について問う。現行の入札制度の課題等を整理し見直しを始めた。

教育について

萩原陽子

佐倉検定について問う。本年11月に実施の予定。教育委員会の県立高校入学選抜の指導について問う。

観光振興について

石渡康郎

国は観光立国、県は観光立県と銘打ち観光振興を進める中、佐倉市は今後どう取り組むのか。現在佐倉市が推進している観光振興策をもとに、佐倉市の魅力を内外に発信し、交流人口を増加させ、まちの活性化に資するよう、観光の振興にさらに努めていく。

平和憲法の認識について

富塚忠雄

8月15日に行われた佐倉市平和式典において、蕨市長は、「二度と戦争はしない」と平和への誓いを述べられた。二度と戦争をしない、させないために、平和憲法を守る必要があると思うが、市長の認識について問う。

空き家条例について

久野妙子

空き家条例の制定について問う。空き家条例の制定についてどのように検討してきたのか。

空き家実態調査

久野妙子

空き家実態調査を踏まえ検討を深めたい。また、市町村の権限強化を図った(仮称)空き家対策特別措置法の国会提出の動きがあり、動向を注視している。

空き家条例の制定について

久野妙子

空き家条例の制定について問う。空き家条例の制定についてどのように検討してきたのか。

空き家実態調査

空き家実態調査

空き家実態調査を踏まえ検討を深めたい。また、市町村の権限強化を図った(仮称)空き家対策特別措置法の国会提出の動きがあり、動向を注視している。

空き家実態調査を踏まえ検討を深めたい。また、市町村の権限強化を図った(仮称)空き家対策特別措置法の国会提出の動きがあり、動向を注視している。

空き家実態調査

久野妙子

空き家実態調査を踏まえ検討を深めたい。また、市町村の権限強化を図った(仮称)空き家対策特別措置法の国会提出の動きがあり、動向を注視している。

空き家実態調査

空き家実態調査

空き家実態調査を踏まえ検討を深めたい。また、市町村の権限強化を図った(仮称)空き家対策特別措置法の国会提出の動きがあり、動向を注視している。

空き家実態調査を踏まえ検討を深めたい。また、市町村の権限強化を図った(仮称)空き家対策特別措置法の国会提出の動きがあり、動向を注視している。

空き家実態調査

久野妙子

空き家実態調査を踏まえ検討を深めたい。また、市町村の権限強化を図った(仮称)空き家対策特別措置法の国会提出の動きがあり、動向を注視している。

いじめ問題への取り組みはどうか

平成23年度は131件、24年度は158件のいじめが報告されている。いっこうになくならないいじめは犯罪だと考えるが根本的な解決策は何か。

いじめを起させないための未然防止と発見時の早期対応が極めて大切。毅然とした指導とその背景にある理由を十分に捉え根気強く解決のための指導をしていくことが今後重要だ。

市民ネットワーク 伊藤壽子

集団住民検診の個人情報流出事件で判明した個人情報管理問題

2007年分対象者の住所、氏名、生年月日、性別と2008年特定がん検診249人の住所、氏名、診断結果の流出が6月議会に報告された。原因究明と犯人について、損害賠償請求と来年度の事業者を見直し責任の所在を明確にすべきと考える。

捜査中であり、内部調査中。損害賠償額は郵送費、印刷代、人件費等500万円程度と試算。事業者の情報管理体制も強化されたので残りの契約を履行する。

事業者は委託期間終了後もさらに5年間情報保管を行うというだが、その後個人情報保護はきちんと破棄されているのか、健康なども部の見解を問う。

確実に破棄することで今後事業者と協議していく。

総務部へ、市全体として委託事業終了後の個人情報取り扱い規定について問う。

事業完了後市へ公文書を返還するか、電子データ等は確実に廃棄することを定めている。

用語解説

※【オストメイト】

直腸がんや膀胱がんなどが原因で、臓器に機能障害を負い、腹部に人工的に排泄のための開口部(ストーマ)を造設したかたをいいます。最近では、オストメイトのかたのための設備を備えたトイレが、少しずつ設置されるようになってきました。

平成25年9月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄 可決 否決 同意
 認定 不採択 議長
 賛成 反対 議長

議案番号	議案名	議決結果	さくら会										公明党				市民ネットワーク		みんなの党		会派に属さない議員								
			為田浩	橋岡協美	井原慶一	石渡康郎	川名部実	櫻井道明	山口文明	清宮誠	押尾豊幸	中村孝治	桐生政広	望月清義	久野妙子	小須田稔	柏木恵子	岡村芳樹	森野正	大野博美	伊藤壽子	五十嵐智美	岩井功	村田稷史	高木大輔	松原章	上ノ山博夫	萩原陽子	冨塚忠雄
市長提出議案 ※白抜き数字は諮問番号																													
1	平成24年度佐倉市一般会計歳入歳出決算認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	平成24年度佐倉市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	平成24年度佐倉市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	平成24年度佐倉市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	平成24年度佐倉市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	平成24年度佐倉市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	平成24年度佐倉市災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	平成24年度佐倉市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	平成24年度佐倉市水道事業会計決算認定について	認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	平成25年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	平成25年度佐倉市下水道事業特別会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	平成25年度佐倉市介護保険特別会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	佐倉市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	佐倉市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	佐倉市住居表示審議会条例の一部を改正する条例制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	佐倉市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	佐倉市子育て支援推進委員会条例の一部を改正する条例制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	佐倉市予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	佐倉市学区審議会条例の一部を改正する条例制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	佐倉市道路線の認定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	佐倉市防災ラジオ購入事業契約について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	RBC505鹿島川第1三号幹線整備工事請負契約について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	佐倉市立西志津小学校体育館改築建築工事請負契約について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	佐倉市立志津児童センター等の指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	佐倉市立佐倉老幼の館等の指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	佐倉市立臼井老幼の館等の指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	佐倉市立北志津児童センター等の指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	佐倉市立南部児童センター等の指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	訴えの提起について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	教育委員会委員の任命について	同	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	人権擁護委員候補者の推薦について	同	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願・陳情 ※白抜き数字は陳情番号																													
29	生活保護法を「改悪」しないよう意見書の提出を求める陳情書	不	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
30	「年金削減を中止し制度改善を求める」意見書採択の陳情	不	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議員提出議案 ※数字は発議案番号																													
1	佐倉市議会会議規則の左横書き化等に関する規則制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	地方税財源の充実確保を求める意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	来年4月からの消費税増税を止めるよう求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
4	政治の責任で「ブラック企業」を一掃するよう求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
5	原子力発電所の輸出に反対する意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
6	「原発事故子ども・被災者支援法」基本方針案に関し、公聴会の継続的開催と真に被災者を支援する施策の実現を求める意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	「秘密保全法案」(仮称)の国会提出中止を求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
8	介護保険の「要支援者」への保険給付を継続し、全国一律の基準を維持することを求める意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	大規模地震等災害対策の促進を求める意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

主な議案の概要

議案第1号から第9号までは平成24年度一般会計・各特別会計・水道事業会計の歳入歳出決算認定、議案第10号から第20号までは平成25年度各会計の補正予算、議案第21号から第24号までは各種条例の制定、議案第25号から第29号までは指定管理者の指定に関する議案です。

【議案第10号 平成25年度佐倉市一般会計補正予算】

歳入歳出それぞれ24億5201万1千円を増額するもので、補正後の予算総額は457億940万5千円となる。歳入の主なものは、地方交付税、国・県支出金、前年度繰越金などの増額。歳出の主なものは、生活困窮者自立促進支援モデル事業、民間保育園施設整備補助事業、小中学校校舎等の耐震化事業の増額など。

【議案第13号 佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定(1)】

平成25年3月に公布された地方税法の改正に伴い、事務処理や算定方法の改正、課税方式変更に伴う規定の改組など、市民税と国民健康保険税の賦課事項を変更するもの。

【議案第22号 佐倉市防災ラジオ購入事業契約(1)】

防災ラジオ購入事業について、2303万7千円で売買契約を締結するもの。

【議案第24号 佐倉市立西志津小学校体育館改築建築工事請負契約(1)】

西志津小学校体育館改築建築工事について、2億9820万円で請負契約を締結するもの。

【議案第25号 議案第29号 佐倉市立児童センター及び児童保育所の指定管理者の指定(1)】

市内の児童センター、老幼の館、児童保育所を、佐倉老幼の館と佐倉地区の児童保育所5施設、臼井老幼の館と臼井・千代田地区の児童保育所4施設、北志津児童センターと志津北部地区の児童保育所3施設、志津児童センターと志津南部地区の児童保育所5施設、南部児童センターと根郷・和田・弥富地区の児童保育所8施設の5圏域に分割し、それぞれの圏域において、平成26年4月から平成31年3月までの指定管理者を指定するもの。

【議案第30号 訴えの提起(1)】

国鉄佐倉駅前土地区画整理事業の保留地使用に引き続き、市所有地を建物の敷地として使用する者及び建物を賃借している者に対し、建物の撤去、土地の明渡し、建物からの退去等を求め、訴えを提起するもの。

ざくろ会

議案第1号 議案第9号、平成24年度佐倉市一般会計歳入歳出決算等の認定について賛成

議案第1号の平成24年度佐倉市一般会計歳入歳出決算については、歳入の根幹である市税収入が評価替えに伴う固定資産税の減収により、前年度と比較して1.2%の減少となる中、財政の健全性を維持しつつ、最優先課題である防災、減災対策について、小中学校の耐震化等の対策が進められた。

小中学校では佐倉小学校など6校、中学校では上志津中学校の耐震補強工事が実施され、原子力発電所事故による放射性物質対策としては、佐倉市の除染計画に基づき、放射線量が基準値を超えている施設の除染工事、定期的な放射線量の測定、給食用食料、農産物などの放射線測定が実施された。また、大規模災害時の情報伝達手段として、臨時災害FM放送局を立ち上げることができるよう放送体制が整備されるなど、喫緊の課題に適切に対応した。

福祉の充実の取り組みとしては、市内に居住する児童が、病気の回復期で集団保育が困難な場合、病院等の専門施設で一時的に預かる病後児保育事業を新たに始めており、子どもの医療費助成については、これまで入院は小学校6年生まで、通院は小学校3年生までが対象だったものを、入院、通院ともに中学校3年生までを対象を拡大した。また、待機児童対策としては、千葉県安心こども基金を活用し、千代田地区に定員45名の民間保育園が整備された。そのほか介護施設整備補助、認知症に関する知識の普及と支援体制の強化、生活習慣病などの予防、早期発見を促すための国民健康保険人間ドック助成の開始など、少子高齢化時代に対応した施策が図られているものと認められる。

産業経済の活性化対策として

公明党

議案第1号平成24年度佐倉市一般会計歳入歳出決算認定に賛成

小中学校の耐震化や防災井戸、防災無線の整備に加え、新たに臨時災害FM放送、防災無線ラジオの整備など防災減災対策や放射性物質対策を優先課題として実施したことを評価する。今後検討すべき問題点を指摘する。職員のスキルアップのため民間企業に派遣、研修を行うこと。地域まわりの協議会事業について、小学校単位の区割りに馴染まない地域もあり再検証すること。

婚活支援事業では、成婚者の定住化へ家賃補助など、二段、三段の施策を工夫すること。敬老祝金贈呈事業は他市の例など研究しさらに工夫すること。児童保育は全施設で6年生までの受け入れを推進すべきこと。街灯補助事業について、節電効果の高いLED化に対応する補助金要綱に改正すること。県が派遣している中学校のスクールカウンセラーは全校に配置されているが、小学校に市が配置する心の教育相談員は6校のみであり、全校設置すること。

議案第15号後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定に賛成

このような点を評価し、平成24年度決算認定について賛成するものとした。

議案第10号、平成25年度佐倉市一般会計補正予算について賛成

市への歳入については、その根幹となる個人市民税等の市税収入が減少する厳しい状況の中、防災、減災対策の強化としての小中学校校舎等の耐震化の前倒しや自主防災組織支援、子育て支援の充実としての民間保育園施設整備助成などに伴う事業費の増額が計上され、市民の安全、安心を確保するための施策を迅速かつ適切に対応しているものと認められることから、平成25年度佐倉市一般会計補正予算について賛成するものとした。

市民ネットワーク

議案第10号佐倉市一般会計補正予算に賛成

高木大輔議員

議案第10号佐倉市一般会計補正予算に賛成

高木大輔議員

高木大輔議員

高木大輔議員

みんなの党

議案第1号に賛成だが...

平成24年度一般会計決算については、概ね良好な決算だが、婚活支援事業については、今後の実施方法の工夫が必要である。目的の一つである佐倉市への定住化を確実に実現できる婚活支援事業でなければ、不必要な税金を意味もなく支出するだけである。24年度実績において、成婚に至ったカップルがあったことは、誠に喜ばしいことではあるが、これはあくまでも行政の事業であり、佐倉市発展のための事業でなければならぬ。人口流出を招くだけの婚活支援事業は実施方法を見直すべきである。

議案第23号、24号の総合評価方式の入札は、業者間の競争原理が働き難くなっている。議案25号、児童センター学童保育所の指定管理者選定は通常の選定方式ではなく、保護者が選定委員に入る等特別な配慮を求める。

議案第25号、29号 学童保育指定管理者の選定では、保育の内容より経営基盤などを重視し保育の専門的判断に欠ける選定結果になっており反対する。

議案第25号、30号について賛成。

議案第25号、30号について賛成。

生活困窮者自立促進支援モデル事業は生活保護に至る前の経済的困窮者の生活再建に支援する制度であり、市内に事業所を持つ3つの社会福祉法人で行われることとなった。今後の自立支援の取り組みに期待する。

松原章議員

議案第30号(市有地賃借人に建物取去土地明渡と滞納賃料支払を求める等の訴訟)に反対

昭和54年3月7日付覚書は曖昧、かつ連帯保証人2名に求める保証内容が不明。しかも、その後20年7カ月間、無償貸与のまま放置した市の対応は、怠慢以上に問題があると考えた。

上ノ山博夫議員

萩原陽子議員

富塚忠雄議員

委員会報告

※議案は市長提出議案

総務常任委員会

開催日：平成25年9月17日／場所：第四委員会室

《審査結果》

議案10	議案13	議案14	議案15	議案16	議案22
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案23	議案24	陳情30			
可決	可決	不採択			

議案8件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

議案第15号「佐倉市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について」は、議案には賛成するものの、すでに徴収されている延滞金を還付することについては、法的な根拠を踏まえ、その是非を含め適正かつ慎重に対応していただきたい。

入札の方式について、現行の総合評価方式の妥当性を改めて検討していただきたい。

文教福祉常任委員会

開催日：平成25年9月19日／場所：第三委員会室

《審査結果》

議案10	議案12	議案17	議案18	議案19	議案20
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案25	議案26	議案27	議案28	議案29	陳情29
可決	可決	可決	可決	可決	不採択

議案11件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

議案第10号「平成25年度佐倉市一般会計補正予算」の生活困窮者自立促進支援モデル事業に関しては、就労訓練などの中間的就労に際し、事業者と訓練を受ける方の関係等に細心の注意を払っていただきたい。

議案第25号から議案第29号までの児童センターと学童保育所の指定管理者の指定について、指定管理者との一層の意思疎通と指定管理者に対する適切な指導、支援などのフォローアップを行っていただきたい。業務開始後は、適正な運営が行われているか、定期的な確認、監督を行っていただきたい。学童保育所など専門性が問われる指定管理者の選定については、保護者や専門家など現場レベルの声をより反映した審査に努めていただきたい。

経済環境常任委員会

開催日：平成25年9月18日／場所：第二委員会室

《審査結果》

議案10
可決

議案1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

今回、予算計上されている住宅用省エネルギー設備導入促進事業及び農産園芸経営支援事業は、環境対策及び農業振興に有効な事業である。今後、さらなる推進が図られるよう市単独事業の実施を含め新たな事業の実施について検討していただきたい。

建設常任委員会

開催日：平成25年9月20日／場所：第一委員会室

《審査結果》

議案10	議案11	議案21	議案30
可決	可決	可決	可決

議案4件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

議案第30号「訴えの提起について」にあたっては、今後同様の、そしてさらなる問題が出ないように適正な事務処理を徹底されるよう努められたい。

11月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか

- ◆ 議会運営委員会 11月19日(火)
- ◆ 初 日 11月25日(月) 午後1時から
- ◆ 一般質問 12月2日(月)～5日(木)
- ◆ 常任委員会 12月9日(月)～12日(木)
- ◆ 最終日 12月16日(月) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細については事務局までお問い合わせください。

議会事務局 ☎484-6279

ケーブルネット296では、本会議(初日、一般質問、最終日)の様態を本会議が開催された翌日午後5時30分から放送します。【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

佐倉市議会のホームページも ご覧ください

佐倉市のホームページ

<http://www.city.sakura.lg.jp>から

→ 佐倉市議会

をクリック



● 会議録が検索できます!

平成元年以降の市議会の本会議会議録の内容を検索することができます。

● インターネット中継を見ることができます!

本会議の様態を、開催時間中にライブ中継で見ることができるほか、開催日からおおそ1週間後以降には録画中継として見ることができます。

議会百景

志津霊園問題の解決、志津公民館の移転など発展的な事業がある一方で、山積している問題解決に向けて、各議員が丸となって市政に取り組みでいます。議会のインターネット中継の開始や来年1月に開催する第3回議会報告会・意見交換会など市民の皆様と議会が共に協力し合い、住み続けたいまち佐倉の実現に向けて取り組んでまいります。

(広報公聴委員 高木大輔)

歴史を顧みるに第二次大戦、沖繩戦、広島・長崎の原爆、東日本大震災、福島原発事故。これら甚大な被害も政治の舵取り次第で回避できたのである。故に、議会を取り組む一つ一つが将来の佐倉市を創る大切な役割を担っている責任を自覚し、日々研鑽に励み、判断していかねばと痛感しております。

(広報公聴委員 岩井 功)